

身近な地域で 気づく・つなぐ・話しあう

— 住民ができること・福祉専門職の役割 —

参加者 募集

- ◆ 対象／テーマに関心のある市民・関係者など(定員200人／事前申込制・先着順)
- ◆ 申込期日／2月21日(定員に達するまで延長あり)
- ◆ 申込方法は裏面参照

区社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの相談機関では、複合的な困りごとを抱えた世帯、地域社会から孤立した状態にある人など、日々さまざまな相談が寄せられており、深刻化した状態で関わりが始まることも少なくありません。

本シンポジウムでは、一人ひとりの安心とつながりある暮らしのために、住民ができること、福祉専門職の役割について、身近なところで困りごとに「気づく」、本人と適切な支援先を「つなぐ」、課題や思いを「話しあう」というポイントから考えます。

テーマに関連した動きとして、3月末に完成予定の「大阪市地域福祉活動推進計画」と「参画と協働のための地域福祉ガイドブック」についてもお伝えします。

平成30年

2月27日 火

13:30～16:00 [開場 13:00]

会場 浪速区民センター ホール

(大阪市浪速区稲荷2丁目4番3号)

【第1部】 基調講演



- 花園大学 社会福祉学部
教授 川島ゆり子 さん

【第2部】 実践報告・パネルディスカッション

- **港区から** 〈多様な担い手による見守りネットワークづくり〉
港区社会福祉協議会 地域支援担当副主幹 堀 健一郎 さん
地域見守りコーディネーター、見守り協力事業者など
- **東住吉区から** 〈つどいの場を通じた見守り・つながりづくり〉
社会福祉法人ふれあい共生会 矢田地域包括支援センター 吉田 健二 さん
長居東住宅 すみれ会ボランティア 清水 勝子 さん
- **コーディネーター**：花園大学 社会福祉学部 教授 川島ゆり子 さん

申込み・問合せ先 / 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 (担当:地域福祉課)

TEL : 06-6765-5606 FAX : 06-6765-5607 E-mail : fukusi@osaka-sishakyo.jp

HP : <http://www.osaka-sishakyo.jp/> ホームページ内に参加申込フォームを設けています ➡

(本シンポジウムは共同募金配分金を活用して実施します)



名前	電話番号	所属・団体名 (任意)	備考 (車いすのご使用・ 手話通訳ご希望など)

【申込方法】 ホームページ内参加申込フォーム、メール、FAX、電話にて上記内容をお知らせください。

【申込期日】 2月21日(水) (期日までに定員に達しない場合、受付を延長します)

- ホームページ(<http://www.osaka-sishakyo.jp/>)の参加申込フォームの場合、メールアドレスの入力が必要となります。(掲載場所:トップページ▶お知らせ▶地域福祉シンポジウムの開催について)
- メール(fukusi@osaka-sishakyo.jp)の場合、件名に【シンポジウム】と記載のうえ上記内容をお送りください。
- FAX(06-6765-5607)の場合、本紙をご使用ください。送信票は不要です。
- 電話(06-6765-5606)の場合、月曜日~金曜日(祝日除く)午前9時~午後5時30分の受付となります。

※ 参加票の送付はありません。定員を超えた場合は個別に連絡します。

※ お知らせいただいた個人情報については、本企画の運営管理の目的のみに利用し、適切に管理します。

講師プロフィール

花園大学
社会福祉学部 教授

川島 ゆり子 (かわしま・ゆりこ) さん

専門は、地域福祉、コミュニティワーク、コミュニティソーシャルワーク、生活困窮者の支援ネットワーク。

三重県コミュニティソーシャルワーカー養成研修委員、大阪府社会福祉協議会コミュニティソーシャルワークスキルアップ研修講師などを務める。

大阪市内では、市社会福祉協議会が設置する大阪市地域福祉活動推進委員会・委員を務め、各区見守り相談室を対象としたコミュニティソーシャルワークに関する研修講師を担当。

主な著書に『地域を基盤としたソーシャルワークの展開』(ミネルヴァ書房 2011)がある。

会場案内

浪速区民センター ホール

(所在地: 大阪市浪速区稲荷2丁目4番3号)

地下鉄千日前線 桜川駅(7番出口) 徒歩 約 7分

JR大和路線 JR難波駅 徒歩 約10分

地下鉄四つ橋線「なんば駅」、阪神なんば線「桜川駅」等からも徒歩で会場可能です。

